

# 足羽山と足羽川を「みどりの回廊」として活用しよう!

管理放棄され昔と姿を変えてしまった足羽山の森、外来植物が蔓延する足羽川。ただ木や草を植えるだけでは真のみどりの回廊をつくることはできません。現状を知り、その問題点を明らかにすることがみどりの回廊をつくる最初のステップです。

●福井県立大学生物資源学部PTT研究員  
**赤井賢成 氏**

河川環境は洪水による地形(砂州等)や植生の破壊とその後再生過程、いわゆる動的平衡に特徴があると思います。全国どの川も、近年の治水事業による人工改変により、動的平衡が破綻して環境の質が劣化してきています。治水制約の下、知恵を出し合って足羽川に豊かな自然環境を取り戻すことは、将来の福井にとって現在最も大事なことでないでしょうか。

●京都大学大学院工学研究科教授  
**細田尚 氏**

2月 学  
19日(日)

「みどりの回廊」第4回

## 「足羽川と足羽山シンポジウム」

### “みどりの回廊”の実現に向けて 今私たちにできることは？

これまで学んできた足羽山と足羽川の歴史、自然の現状をふまえてパネリストの方々の意見や活動を聞き、みなさんと一緒に足羽山と足羽川の“みどりの回廊”の可能性を具体的に話し合います。

場 所: 福井商工会議所 2階会議室A  
福井市西木田2-8-1  
TEL 0776-36-8111  
時 間: 13:30~16:30

参加費無料

参加ご希望の方は事前にお申し込み下さい。

●越前石株式会社 取締役  
**福島喜衛 氏**

当社は、足羽山で歴史あるシャク谷石の採掘を最後まで続けていた会社です。1998年9月の採掘停止後は、愛着ある福井の歴史的産業遺産としての坑道保存や石切不動の整備、採掘跡地を元の自然の山に戻すべく環境を整えたりしています。近年、原発の爆発や世界的資本主義の混乱、限界を、目の当たりにして新幹線延伸の遅れた福井だからこそ、造れる福井があると思います。過去の画一的街造りには無い福井らしい全ての環境を活かしたまちづくり建物を造らない事も、投資ではないでしょうか。

●北九州市緑の回廊植樹会実行委員  
**野崎博 氏**

「響みどりの会」は、北九州市若松区の北側20000haの埋立地に毎年13000本のカシ、シイ、タブなどの常緑広葉樹を市民1000人以上の参加により植樹をして「鳥のさえずる緑の回廊」を作ろうとしています。

●この企画は(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています

■主催、申し込み先■

特定非営利活動法人 エコプランふくい  
〒910-0859 福井市 日之出 2丁目2-16  
TEL 0776-30-0092 FAX 0776-21-1261  
email: npo@ecoplanf.com

後援: 福井県土木部河川課

